

広島県告示第692号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

令和8年6月8日

広島県知事 横 田 美 香

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 株式会社 DNPファインオプトロニクス 代表取締役 中西 稔
工場又は事業場の所在地及び名称	広島県三原市沼田西町小原73番地の1 株式会社 DNPファインオプトロニクス 三原東工場

2 申請の内容

65 酸又はアルカリによる表面処理施設1基及び53のロ ガラス又はガラス製品の製造業の用に供する廃ガス洗浄施設2基を新設する。また、  
65 酸又はアルカリによる表面処理施設2基（既設）の使用の方法を変更する。それに伴って、汚水処理施設2基（既設）の汚染状態及び量  
を変更するとともに、汚水処理施設2基（既設）の汚染状態を変更する。また、排水口3基の汚染状態を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1)新設

種	類	65 酸又はアルカリによる表面処理施設 (LMP Sプロセッサ-2)
能	力	大型フォトマスク 1枚/日
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	工事着工後直ちに
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後直ちに

使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間 (季節的変動なし)								
		現像		エッチング		剥離		洗浄		
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
使用 の 方 法	排出される 汚水等 の 状 態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)	11~13	11~13	6~7	6~7	11~13	11~13	7~8	7~8
		生物化学的酸素要求量	19.9	19.9	2	2	1	5	2	2
		化学的酸素要求量	49	49	1	1	1	5	1	1
		浮遊物質 量	2	2	2	2	5	10	2	2
		窒素含有量	20	20	0.5	0.5	1	3	0.5	0.5
		燐含有量	0.05	0.05	0.05	0.05	0.3	0.5	0.05	0.05
		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	3.29	3.29	—	—	3.29	3.29	3.29	3.29
		(単位: mg/L)								
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		3	5	2	3	28	55	11	21	
汚水等の排出先		総合排水処理施設凝集浮上処理		総合排水処理施設凝集沈殿処理 エッチング液は回収し、産廃処理		総合排水処理施設凝集浮上処理 硫酸+過水は回収し、産廃処理		総合排水処理施設凝集浮上処理		

(その2)新設

種	類	53-ロ ガラス又はガラス製品の製造業の用に供する 廃ガス洗浄施設 (酸スクラバー LSPM-SCR-101)			
能	力	排気処理能力 2,000m <sup>3</sup> /h			
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	工事着工後直ちに			
	使用開始予定年月日	完成後直ちに			
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間 (季節的変動なし)		
	項 目		通常	最大	
	排出される汚水等の状態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		5~6	5~6
		生物学的酸素要求量		10	10
		化学的酸素要求量		10	10
		浮遊物質 量		5	10
		窒素含有量		2	3
		燐含有量		0.3	0.5
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m <sup>3</sup> )		10	14	
汚水等の排出先		総合排水処理施設凝集沈殿処理			

(その3)新設

種	類	53-ロ ガラス又はガラス製品の製造業の用に供する 廃ガス洗浄施設 (アルカリスクラバー LSPM-SCR-102)			
能	力	排気処理能力 2,000m <sup>3</sup> /h			
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	工事着工後直ちに			
	使用開始予定年月日	完成後直ちに			
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間 (季節的変動なし)		
	項 目		通常	最大	
	排出される汚水等の状態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		8~10	8~10
		生物学的酸素要求量		10	10
		化学的酸素要求量		10	10
		浮遊物質 量		5	10
		窒素含有量		1.0	1.2
		燐含有量		0.5	1.0
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m <sup>3</sup> )		10	13	
汚水等の排出先		総合排水処理施設凝集浮上処理			

(その4)変更

	変更前	変更後
--	-----	-----

種 類		65 酸又はアルカリによる表面処理施設 (前処理 O-CM)			
工期等	設 置 年 月 日	平成12年9月1日		—	
	工 事 着 手 予 定 年 月 日	—		許可後直ちに	
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	—		工事着工後直ちに	
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	—		完成後直ちに	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		通常	最大	通常	最大
		207.4	225.3	143.4	144.3

(その5)変更

		変更前		変更後	
種 類		65 酸又はアルカリによる表面処理施設 (現像機 O-BM)			
工期等	設 置 年 月 日	平成12年9月1日		—	
	工 事 着 手 予 定 年 月 日	—		許可後直ちに	
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	—		工事着工後直ちに	
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	—		完成後直ちに	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		通常	最大	通常	最大
		270	300	188	188

(2) 汚水等の処理の方法

(その1) 変更

	変更前	変更後

種 類		総合排水処理施設凝集浮上処理装置								
工期等	設 置 年 月 日	平成5年10月1日				-				
	工 事 着 手 予 定 年 月 日	-				許可後直ちに				
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	-				工事着工後直ちに				
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	-				完成後直ちに				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項 目	処理前		処理後		処理前		処理後	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		化学的酸素要求量	165.98	166.21	60	60	163.44	163.74	60	60
		窒素含有量	14.2	14.29	14.2	14.29	14.09	14.21	14.09	14.21
		リン含有量	1.36	1.71	1.2	1.25	1.35	1.72	1.2	1.25
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ND	ND	ND	ND	0.07	0.07	0.07	0.07	
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )	1,895.7	2,206.8	1,895.7	2,206.8	1,865.7	2,188.8	1,865.7	2,188.8	
その他参考となるべき事項		アンモニア等の流入があるが定量下限未満のためNDと記載。				-				

(その2) 変更

種 類		変更前		変更後	
種 類		総合排水処理施設凝集沈殿処理装置			
工期等	設 置 年 月 日	平成5年10月1日		-	
	工 事 着 手 予 定 年 月 日	-		許可後直ちに	

	工事完成予定年月日		—				工事着工後直ちに				
	使用開始予定年月日		—				完成後直ちに				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項目	処理前		処理後		処理前		処理後		
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
		化学的酸素要求量	(単位：mg/L)	25.23	25.7	16	16	24	24.46	16	16
		窒素含有量		4.57	5.85	4.57	5.85	4.67	5.94	4.67	5.94
	リン含有量	2.33		2.45	1.5	1.7	2.16	2.28	1.5	1.7	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )		4,000.2	4,571.9	4,000.2	4,571.9	4,030.2	4,589.9	4,030.2	4,589.9		

(その3)変更

		変更前				変更後				
種類		総合排水処理施設生物処理装置								
工期等	設置年月日	平成5年10月1日				—				
	工事着手予定年月日	—				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	—				工事着工後直ちに				
	使用開始予定年月日	—				完成後直ちに				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項目	処理前		処理後		処理前		処理後	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	化学的酸素要求量	(単位：mg/L)	26.82	27.06	13	16	26.63	26.87	13	16

		窒素含有量		8.39	10.97	7.78	10.31	8.38	10.97	7.77	10.31
--	--	-------	--	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------

(その4)変更

			変更前				変更後			
種類			総合排水処理施設濾過活性炭処理装置							
工期等	設置年月日		平成5年10月1日				-			
	工事着手予定年月日		-				許可後直ちに			
	工事完成予定年月日		-				工事着工後直ちに			
	使用開始予定年月日		-				完成後直ちに			
使用の方法	処理前処理後の汚染状況	項目	処理前		処理後		処理前		処理後	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		窒素含有量	(単位: mg/L)	7.78	10.31	7.78	10.31	7.77	10.31	7.77

(3) 排出水の汚染状態

(その1)変更

排水口名	項目		変更前		変更後	
			通常	最大	通常	最大
大日本印刷排水口. 1	窒素含有量	(単位: mg/L)	8.15	11.33	8.14	11.33

(その2)変更

排水口名	項 目		変更前		変更後	
			通常	最大	通常	最大
大日本印刷排水口. 2	窒 素 含 有 量	(単位 : mg/L)	8.15	11.33	8.14	11.33

(その3)変更

排水口名	項 目		変更前		変更後	
			通常	最大	通常	最大
大日本印刷排水口. 3	窒 素 含 有 量	(単位 : mg/L)	8.15	11.33	8.14	11.33

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧方法

(1) 縦覧期間

令和8年6月8日(月)から令和8年6月29日(月)まで

(2) 縦覧方法

書面の縦覧場所 広島県環境県民局環境保全課及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課並びに三原市生活環境課

インターネット <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/juuran-seto.html>